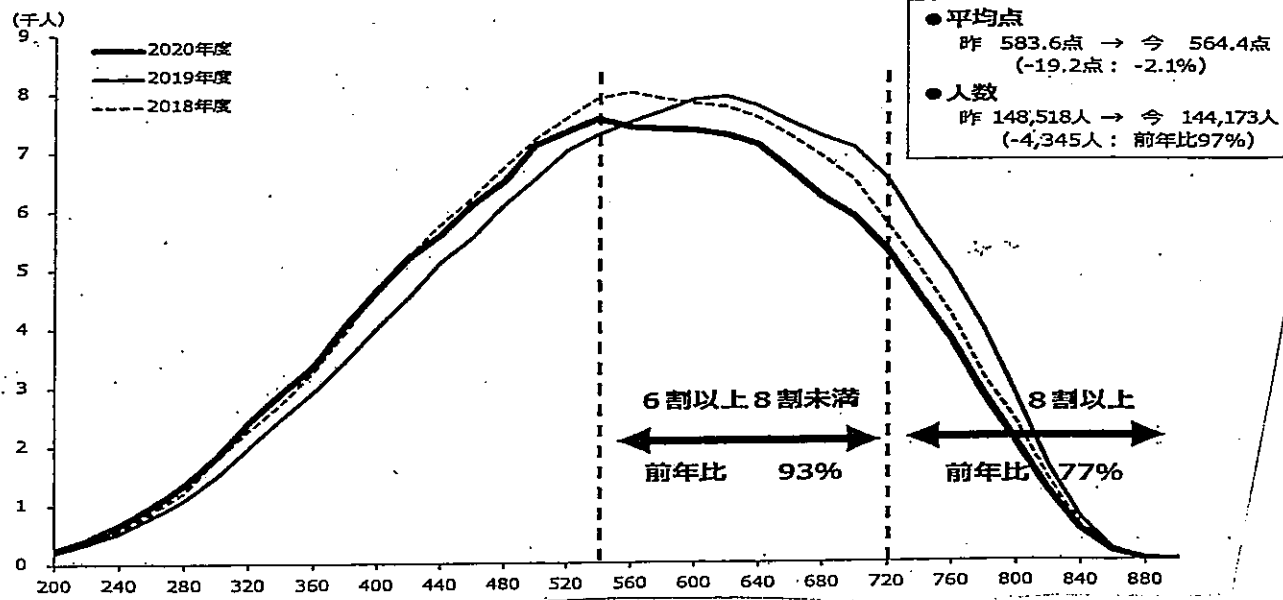


【センター・リサーチ】7科目理系型分布



(4) 全体的には従来の出題形式だが、一部にこれまでにない形式も

全体には近年のセンター試験の傾向を踏まえた出題であったが、次年度から始まる大学入試共通テストの出題方針である。

- ・「知識の理解の質を問う」「思考力・判断力・表現力を活用して解く」問題を一層重視する。
- ・社会生活や日常生活の中から課題を発見し解決方法を構想する場面、資料やデータなどを基に考察する場面など、学習過程を意識した場面設定を重視する
- ・必要な情報を組み合わせて思考・判断させる問題を想定する。

を意識したこれまでになかった設問が見られた。例えば、数学I・Aでは数字ではなく正しい記述を選ばせるもの、国語の漢文の問題では、漢詩の表現から該当する住居の様子(イラスト)を選ばせる設問などである。

例 数学I・A 第2問【2】(1)

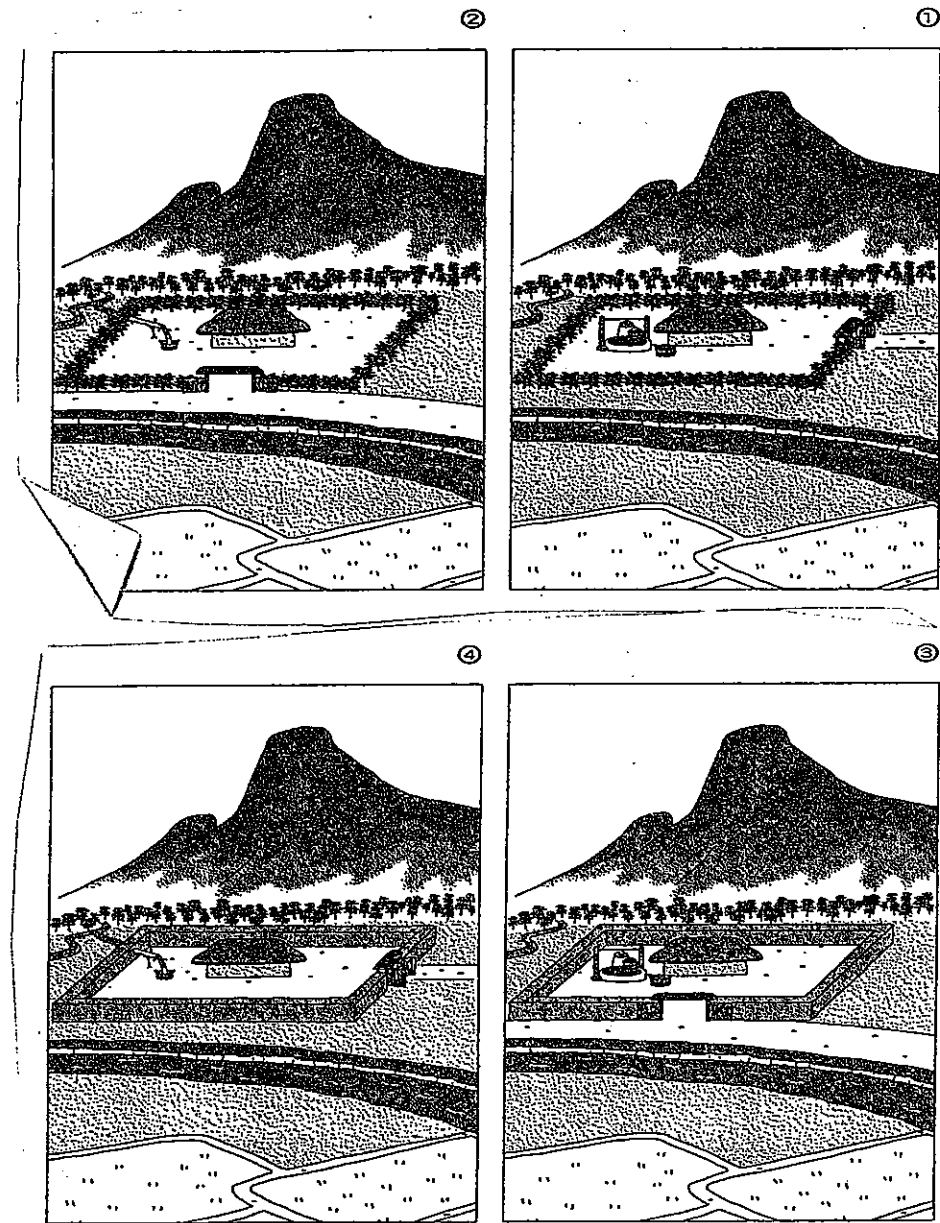
(1) 次の□・サに当てはまるものを、下の①～⑤のうちから一つずつ選べ。

・99個の観測値からなるデータがある。四分位数について述べた記述で、どのようなデータでも成り立つものは□とサである。

- ① 平均値は第1四分位数と第3四分位数の間にある。
- ② 四分位範囲は標準偏差より大きい。
- ③ 中央値より小さい観測値の個数は49個である。
- ④ 最大値に等しい観測値を1個削除しても第1四分位数は変わらない。
- ⑤ 第1四分位数より小さい観測値と、第3四分位数より大きい観測値とをすべて削除すると、残りの観測値の個数は51個である。
- ⑥ 第1四分位数より小さい観測値と、第3四分位数より大きい観測値とをすべて削除すると、残りの観測値からなるデータの範囲はもとのデータの四分位範囲に等しい。

例 国語第4問 問2

(傍線部Bは「しつぽくシテきたノをかニより、ひろひらキテみなみノかはニめンス。たにがはヲせきとメテせいニクムニかへ、むくげヲウエテかさニつらナルニあツ。」と読む)



傍線部B「しつぽくシテきたノをかニより、ひろひらキテみなみノかはニめンス。たにがはヲせきとメテせいニクムニかへ、むくげヲウエテかさニつらナルニあツ。」と読む

辺の景物の配置として最も適当なものを、次の①、②、③、④のうちから一つ選べ。解答番号は

32

(5) センター試験は次年度からは大学入試共通テストに衣替え

1990年から始まった大学入試センター試験は今年度で終わり、次年度から大学入試共通テストが始まる。センター試験と同じ教科科目、マークシートで出題されるなど基本的な部分は変わらないが、問われる内容やリーディングとリスニングの配点と同じになる、数学I・Aの時間が70分になるなど数々の変更点がある。今の2年生の人が共通テスト1期生となるわけだが、授業を大切に、基礎基本を押さえることが合格への道であることには変わりはない。皆さんが一步一步確実に歩んでくれることを切に願っている。